

豊橋ハリストス正教会聖堂が重文に 司祭建築家の河村伊蔵作

2008年4月19日



重要文化財に指定される豊橋ハリストス正教会聖使徒馬太聖堂

国の文化審議会が18日に文部科学相に答申した重要文化財(重文)の指定で、県内からは、豊橋市八町通の「豊橋ハリストス正教会聖使徒福音者馬太(まとふえい)聖堂」が選ばれた。県内の国宝と重文は406件(うち国宝は9件)となった。7月にも正式指定される。

聖堂は1913(大正2)年に建築された。木造平屋で、床面積は約180平方メートル。玄関上部に立つ八角形の鐘塔と、白塗りの外壁が特徴だ。文化庁は「大正期の代表的な木造のハリストス正教会聖堂で、その建築構成と細部意匠には高い歴史的価値がある」と説明している。

設計したのは、南知多町生まれのハリストス正教会副輔祭、河村伊蔵(1866 - 1940年)とされる点も価値を高めている。河村は司祭建築家としても名高く、「松山聖堂、大阪聖堂、修善寺聖堂に続いて設計した点も重要」(文化庁)という。

豊橋ハリストス正教会の酒井以明神父(48)は「こんなに早く重文指定されてうれしい。先輩たちが一世紀先を見据えて

立派な教会を建ててくれたことに感謝している」と喜んでいる。

全国のハリストス正教会の重文指定は、れんが造りのニコライ堂(東京都千代田区)と復活聖堂(函館市)に次ぎ3番目だが、木造の重文指定は1階建ての豊橋の聖堂が初。

重文指定を記念し、聖堂は20日(午後1 - 4時)と復活祭の27日(午前10 - 正午)に一般公開される。

(木村 靖、世古紘子)

<http://www.chunichi.co.jp/article/aichi/20080419/CK2008041902004713.html>



重文指定を喜ぶ酒井以明神父。聖所と奥の至聖所はイコンが並ぶ聖障(中央)で仕切られる=いずれも豊橋市八町通3で

読売新聞

豊橋ハリストス正教会聖堂 「完成型」に歴史的価値 重文答申



国の重要文化財指定が答申された豊橋ハリストス正教会の聖堂。国の文化審議会が18日、重要文化財への指定を答申した豊橋ハリストス正教会(豊橋市八町通)の「聖使徒福音者馬太(まとふえい)聖堂」は、ロシア正教会の聖堂として1913年(大正2年)に完成した。木造銅板ぶき平屋建てで、ハリストス正教会の河村伊蔵・副輔祭が設計監督した。

ハリストス正教会の定型的な平面構成を持ち、国内の木造ハリストス正教会聖堂の完成型としての歴史的価値が評価された。同聖堂の指定で、県内の重要文化財は397件となる。

(2008年4月19日 読売新聞)

http://chubu.yomiuri.co.jp/kyoiku/kyo080419_2.htm?from=goo

豊橋ハリストス正教会聖堂が国の重要文化財指定へ



白亜の外観の「豊橋ハリストス正教会聖堂」= 豊橋市八町通三丁目 15 で

国の文化審議会(石澤良昭会長)は18日、重要文化財の指定について文部科学大臣に答申した。愛知県の物件では唯一、「豊橋ハリストス正教会聖使徒福音者馬太聖堂(せいしとまとふいせいどう) = 豊橋市八町通三 = が、「我が国における木造ハリストス正教会聖堂の完成型の建築と細部意匠をもつことで歴史的価値が高い」として選ばれた。7月に指定を受ける予定。豊橋市内の建造物で国の重文指定は、東観音寺多宝塔に次いで101年ぶり2件目。国内のハリストス正教会の国の重文指定は、東京・神田のニコライ堂、函館の復活堂(いずれもレンガ造)に続く3件目。同教会の木造聖堂としては豊橋の聖堂が日本の頂点に立つ存在となる。

豊橋公園入口近くに、西を正面として建つ同聖堂は、1902(明治35)年に現在地に聖堂用地が購入され、13(大正2)年に完工した。設計監督は、南知多郡・内海出身の河村伊蔵(当時、ハリストス正教会副輔祭)で、松山や大阪のハリストス正教会も設計。その経験を生かした集大成が豊橋聖堂。

聖堂は木造1階建て、建築面積約182平方メートル。西から東へ玄関、啓蒙所、聖所の順で一列に配置し、聖障(イコノスタス)を挟んで、東端に至聖所が付く。玄関上には尖った屋根とクーポラ(ドーム)をもつ3層八角形の鐘楼が立つ。1983年に市重要文化財、翌年、県重要文化財に指定。

河村伊蔵は、松山聖堂(1908)、大阪聖堂(1910)、修善寺聖堂(1912)に続いて豊橋聖堂を設計。完成度の高い建築となった。ハリストス正教会の聖堂は国内に72カ所あるが、木造聖堂で最古の京都聖堂(1901建築)に次ぐ歴史をもつ。

この日、国の重文指定の答申を受け、豊橋ハリストス正教会の酒井以明神父、三井新太郎執事長、後藤清司豊橋市美術博物館副館長が市役所で記者会見。

酒井神父は「1世紀前から、先を見据えて素晴らしい聖堂を残してくれた先輩たちに感謝します。これからも、豊橋市、愛知県内外から親しまれる聖堂にしたい」。三井氏は「私は4代目の信者。戦火を免れた建物を後世に残し続けなければ」と語った。

今回の文化審議会の答申は、国宝1件、重文10件。県内では豊橋の聖堂の1件。後藤氏は「豊橋市内の建造物の国の重文指定は、東観音寺多宝塔(1907年指定)以来で101年ぶり。建造物以外の重文指定も正宗寺の旧方丈障壁画以来、27年ぶりの指定」と説明。

これで豊橋市内の国指定重文は24件(うち建造物2件)、愛知県内の国宝・重文は406件(同77件)となる。

なお、同市美術博物館は、豊橋聖堂が国の重文に指定されることを記念し、20日午後1時から4時まで、聖堂内部の見学会(一般公開、参加無料)を開く。教会関係者が建造物の内部を説明する。

また、同教会が27日午前10時から正午まで行う復活祭でも聖堂内部を一般見学できる。

(杉浦文夫)

http://www.higashiaichi.co.jp/today_news/080419t/08041901.htm

ハリストス正教会聖堂が重文へ

国の文化審議会(石澤良昭会長)は18日、豊橋市八町通3丁目、豊橋ハリストス正教会(酒井以明・管轄司祭)の聖使徒福音者馬太聖堂(せいしとふくいんしゃまとふいせいどう)について、重要文化財に指定するよう、文部科学大臣に答申した。国内のハリストス正教会の聖堂としては3つ目になるが、木造では初



めて。豊橋市内では、81(昭和56)年に正宗寺の旧方丈障壁画以来27年ぶり。7月ごろ、官報に記載されて正式決定となる。

同聖堂は、豊橋公園入り口近くに位置し、西を正面に建つ。1902(明治35)年、現在地に聖堂用地が購入され、1913(大正2)年に完成した。設計したのは南知多郡の旧内海村出身の河村伊蔵氏で、当時、ハリストス正教会の副輔祭の立場にあった。松山や大阪の聖堂も設計しており、豊橋の聖堂が集大成となった。県内には、豊橋のほか名古屋、半田にあ

木造で初の国指定文化財となる豊橋
ハリストス正教会(聖堂外観南側)

る。
聖堂は木造平屋。正面八角形鐘楼付きで、建築面積182平方メートル。西から東へ玄関・啓蒙所、聖所の順に一列に配置され、聖障(イコノスタス)をはさんで祭壇がある。1927(昭和2)年にロシアから運ばれた聖障が設置され、現在のようになった。屋根は1960(昭和35)年に鉄板葺(ぶ)きから銅板葺きに替えた。

豊橋の聖堂は、柱がないピザンチン様式で造られており、ハリストス正教会の聖堂として定型的な平面構成をもつとともに、聖堂の完成型として価値が高い。83(昭和58)年に豊橋市指定文化財、翌84年に県指定文化財となり、今回、国指定重要文化財となった。

酒井司教(48)は「一世紀を見据えた造りになっており、今後とも受け継いでいく。指定を機に一般に親しみやすいものにしていきたい」と話す。

20日午後1時から見学会を開き、27日午前10時から復活祭を催す。

<http://www.tonichi.net/news.php?mode=view&id=23247&categoryid=1>

朝日新聞

国宝に熊本の青井阿蘇神社、重文に10の建造物 文化審答申

2008年04月18日17時02分

文化審議会(石澤良昭会長)は18日、熊本県人吉市の青井阿蘇神社を国宝に、東京・上野の旧東京科学博物館本館(現・国立科学博物館日本館)など建造物10件を重要文化財に指定するよう、渡海文部科学大臣に答申した。また重要伝統的建造物群保存地区として、長崎県平戸市の大島村神浦(こうのうら)など3地区を選定するよう答申した。

青井阿蘇神社の現在の社殿は、慶長15(1610)年から18年に建てられた。黒漆塗りを基本とし、中世の球磨地方に展開した独自性の強い意匠と桃山期の華やかな意匠を併せ持ち、「近世寺社建築の発展に重要な位置を占める」と評価された。



国宝に指定される青井阿蘇神社の本殿正面 = 熊本県人吉市、文化庁提供

他の答申は次の通り。

【重要文化財】シャトーカミヤ旧醸造場施設(茨城県牛久市) 金沢城土蔵(鶴丸倉庫、金沢市) 大安寺本堂など(福井市) 西福寺阿弥陀堂など(福井県敦賀市) 豊橋ハリストス正教会聖使徒福音者馬太(マト・フェイ)聖堂(愛知県豊橋市) 舞鶴旧鎮守府倉庫施設(京都府舞鶴市) 毛馬洗堰(けまあらいぜき)など淀川旧分流施設(大阪市) 大野教会堂(長崎市) 江上(えがみ)天主堂(長崎県五島市)

【重要伝統的建造物群保存地区】主計(かずえ)町地区(金沢市) 小浜西組地区(福井県小浜市)

<http://www.asahi.com/culture/update/0418/TKY200804180251.html>



重要文化財(建造物)に指定される豊橋ハリストス正教会聖使徒福音者馬太聖堂 = 愛知県豊橋市、文化庁提供



重要文化財(建造物)に指定される江上天主堂 = 長崎県五島市、文化庁提供



重要文化財(建造物)に指定される舞鶴旧鎮守府倉庫施設 = 京都府舞鶴市、岩井建樹撮影



重要文化財(建造物)に指定される旧東京科学博物館本館 = 東京都台東区、文化庁提供

中日新聞

青井阿蘇神社(熊本)国宝に 文化審答申、重文は豊橋の教会など

2008年4月19日 朝刊

文化審議会(石沢良昭会長)は18日、熊本県・球磨地方の神社建築を代表する重要文化財の青井阿蘇神社(同県人吉市)を国宝に、国内最初期のワイン醸造場で、現在は観光施設として利用されているシャトーカミヤ旧醸造場施設(茨城県牛久市)など10件の建造物を重要文化財にそれぞれ指定するよう渡海紀三朗文部科学相に答申した。

また江戸、明治期の港町の景観が残る長崎県平戸市の大島村神浦(こうのうら)地区など3地区を、重要伝統的建造物群保存地区に選定するよう答申。いずれも答申通り近く指定・選定され、建造物の重要文化財は2338件(うち国宝は214件)、同保存地区は38道府県で83カ所になる。

青井阿蘇神社は、球磨地方を治めた相良氏が江戸時代初めの1610 - 13年に建築。独特の装飾や色使いが南九州一帯の神社建築に影響を及ぼし、文化史上、特に意義深いと評価された。

シャトーカミヤ旧醸造場施設は、れんが造りの洗練されたフランス風建築。1903(明治36)年の建設とされ、発酵室や貯蔵庫などが現存する。創設者は東京・浅草の神谷バーを開いた実業家神谷伝兵衛。

重要文化財にはこのほか、現存最古級の鉄骨造り建築を含む舞鶴旧鎮守府倉庫施設(京都府舞鶴市)

や、豊橋ハリストス正教会(愛知県豊橋市)の木造聖堂なども指定される。

審議会の答申内容

【国宝】青井阿蘇神社本殿など5棟(熊本県人吉市)

【重要文化財(建造物)】シャトーカミヤ旧醸造場施設発酵室など3棟(茨城県牛久市) 旧東京科学博物館本館(東京都台東区) 金沢城土蔵(金沢市) 大安寺(だいあんじ)本堂など5棟(福井市) 西福寺御影堂(さいふくじみえいどう)など3棟(福井県敦賀市) 豊橋ハリストス正教会聖使徒福音者馬太(マトフエイ)聖堂(愛知県豊橋市) 舞鶴旧鎮守府倉庫施設7棟(京都府舞鶴市) 淀川旧分流施設毛馬洗堰(けまあらいぜき)など2カ所(大阪市) 大野教会堂(長崎市) 江上(えがみ)天主堂(長崎県五島市)

【重要伝統的建造物群保存地区】金沢市主計町(かずえまち)地区(金沢市) 小浜市小浜西組地区(福井県小浜市) 平戸市大島村神浦(こうのうら)地区(長崎県平戸市)

(カッコ内は所在地)

<http://www.chunichi.co.jp/article/national/news/CK2008041902004755.html>

愛知県

重要文化財の指定についてお知らせします

[2008年4月19日]

平成20年4月11日(金)発表

重要文化財の指定について

国の文化審議会(会長石澤良昭(いしざわよしあき))は、重要文化財の指定について、4月18日(金)に文部科学大臣に答申する予定です。そのうち、本県では下記の物件が該当しますので、お知らせします。

記

1 重要文化財の名称等 種別 名称・所在地 員数 所有者・住所

建造物 豊橋ハリストス正教会聖使徒福音者馬太聖堂 1棟

豊橋ハリストス正教会 愛知県豊橋市八町通三丁目15番地

2 重要文化財の指定理由等

(1)「豊橋ハリストス正教会聖使徒福音者馬太聖堂」

別紙資料1(PDF)のとおり

(2)県内の国指定文化財件数等

別紙資料2(PDF)のとおり

3 問い合わせ先

「豊橋ハリストス正教会聖使徒福音者馬太聖堂」

・豊橋市美術博物館 豊橋市今橋町3-1 電話 0532 - 51 - 2879

<http://www.pref.aichi.jp/0000014672.html>

[参考]

文化庁

国指定文化財等データベース <http://www.bunka.go.jp/bsys/>

文化財指定等の件数 <http://www.bunka.go.jp/bunkazai/shoukai/shitei.html>

国宝・重要文化財等都道府県別指定件数一覧(PDF + EXCEL)

1. 国宝・重要文化財 <http://www.bunka.go.jp/bunkazai/shoukai/pdf/kokuho0804.pdf>